

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 28 年度 第 6 回理事会 議事録

開催日時：平成 29 年 2 月 17 日（金）18：30～20：30

開催場所：岐臨技事務所（岐阜市藪田南 3-5-10 コスタ岐阜県庁前 603 号室）

出席者：後藤、早川、兼子、林（博）、高木、浅野、松浦、佐々木、荒井、乙訓、林（泉）
青木、美濃輪、棚村、市川、帖佐、佐藤、清水、高崎、柴、森、太田

欠席者：舟橋、川島

議長：兼子会長 議事録：高木理事

高木理事より庶務部からの連絡事項があった。

日臨技より

1) 会費の送金について

平成 28 年度年会費 10,000 円×1 名=10,000 円

2) 病棟業務実施施設調査のお願いについて、

臨床検査技師を 1 日 2 時間以上病棟に配置している施設について調査依頼あり。

3 月の定期便にて調査書配布予定。（兼子議長）

岐阜県観光連盟より

各種大型イベント・宿泊を伴う会議等の県内開催について情報提供のお願い。

平成 29 年 4 月以降から概ね平成 31 年までに県内で開催予定されている催事（会議・研修・セミナー・研修会・報奨・招待旅行・大会・学会・イベント・スポーツ大会等）の情報提供依頼。回答期限は平成 29 年 2 月 28 日（火）まで。

中部圏支部研修会のうち臨床一般、病理細胞部門が岐阜県下の開催であることを学術部長に確認した。FAX にて連絡する。（兼子議長）

第 9 回日本臨床一般検査学会学術集会、後援のお願い。

会期 平成 29 年 8 月 26 日（土）9：00～13：10

会場 藤田保健衛生大学。

内容 「臨床一般検査学の最前線」～一般検査の知識を深め未来を切り開く～。

一般演題募集要項 一般検査に関するもの、過去に発表したものでも可、発表時間は 7 分、質疑は 2 分。

学会長講演（古川 博先生、藤田保健衛生大学病院）、他パネルディスカッション。

参加費は 2,000 円。（兼子議長）

第 15 回スキルアップ講習会主催を岐臨技の主催とする件について

標記講習会は岐阜大学を起点に岐阜県の一般検査を志す技師の方々のご協力によって発展してまいりました。つきましては第15回スキルアップ講習会へのご協力をお願いしたい（臨床一般検査研究会 稲垣会長より文書にて依頼）。

会期 平成29年8月26日（土）27日（日）。

会場 藤田保健衛生大学生涯教育センター。

実習 基礎化学実験センター。

テーマ 「臨床一般検査学の最前線」～一般検査の知識を深め未来を切り開く～。

募集人数 150名。受講料 14,000円（テキスト、実習費含む）。

標記講習会を一般検査の認定更新講習会とするために、地臨技の主催とする必要があること、当会会員が運営に携わっていることから主催とすることを了承願いたい（兼子議長）。

質問・意見は特になく、第15回スキルアップ講習会を主催する件、第9回日本臨床一般検査学会学術集会後援につき、承認した。

岐阜地区 早川理事より岐阜地区総会についての報告

平成29年1月27日（金曜日）19時30分より、長良医療センター会議室
議案

1) 平成28年度岐阜地区理事活動報告

①平成28年11月6日（日）第37回ぎふ市民健康まつりについて。

開催場所は岐阜市文化センター。

第37回ぎふ市民健康まつりの説明。各検査コーナーの市民参加人数。参加スタッフ人数の説明を運営委員長後藤理事より報告。

2) 平成29年度岐阜地区理事活動計画

①春季拡大研修会・定時総会。

開催日は平成29年6月4日（日）。

会場は岐阜大学病院医学部記念会館。テーマは「移植」。

1. 輸血部門講師が岐阜大学医学部附属病院 血液内科 輸血部臨床講師 北川 順一先生。司会は森本剛志さん（松浪総合病院）

2. 血液部門講師が岐阜市民病院 血液内科部長 笠原千嗣先生。司会は渡邊宣典さん（岐北厚生病院）。

3. 市民公開講座は講師が岐阜大学大学院医学系研究科循環器呼吸病態学講師、金森 寛充先生。

②第38回ぎふ市民健康まつり

平成29年11月5日（日）（岐阜市文化センター）予定。

③第56回岐阜県医学検査学会

平成 30 年 3 月 18 日（日）、会場は未定。

検査と健康展は、地区持ち回りとなり、次年度は中濃地区が担当する。

岐阜地区技師会会員数 340 名であり、当日の総会出席 21 名、委任状出席 240 名、過半数以上の参加により本総会の成立を報告し終了した。（早川理事）

地区総会参加者には日臨技生涯教育基礎点数 30 点が付与されるが、今回誤って 20 点で登録した。岐阜地区の会員より指摘を受け、日臨技に問い合わせ点数の変更（20 点→30 点）を依頼した。3 月 1 日付で基礎点数が 30 点に変更される。以後総会の基礎点数は 30 点で登録する。（高木理事）

岐阜地区 高木理事より春季拡大研修会について報告。

岐阜地区総会後に H29 年度春季拡大研修会打ち合わせ会議を行った。

参加者は後藤理事（揖斐厚生病院）、早川理事（長良医療センター）、林理事（東海中央病院）内藤 斉さん（岐北厚生病院）、帖佐理事（岐阜大学病院）、森 晴雄さん（県総合医療センター）、武藤 次郎さん（岐阜赤十字病院）高木理事（羽島市民病院）

開催は平成 29 年 6 月 4 日（日）、場所は岐阜大学医学部記念会館 2 階ホール。

日程

- 9：00～ 受付開始
- 9：30～ 岐阜県臨床検査技師会 会長挨拶
- 9：40～10：40 研修会①輸血 北川 順一先生
(岐阜大学附属病院 血液内科 輸血部臨床講師)
司会者 森本 剛志さん（松波総合病院）
- 10：50～11：50 研修会②血液 笠原 千嗣先生（岐阜市民病院 血液内科部長）
司会者 渡邊 宣典さん（岐北厚生病院）
- 12：00～13：00 ランチョンセミナー2 社
- 13：00～ 受付・入場開始
- 13：20～14：20 市民公開講座 岐阜大学大学院医学系研究科循環病態学講師
(金森 寛充先生)
司会者 内藤 斉さん（岐北厚生病院）
- 14：30～ 閉会・定時総会受付
～16：00 平成 28 年度定時総会

実行委員長は高木理事。

実務委員は後藤理事・林理事・早川理事・帖佐理事・内藤さん・森さん・武藤さん。

当日スタッフ：岐阜大学病院 2 名・羽島病院 1 名（笹川 美佳さん）・東海中央病院 1

名（野寺 咲世さん）・岐北厚生病院 1 名・長良医療センター1 名（瀬川 泰子さん）の合計 14 名。（高木理事）

現在の進捗状況

賛助会員宛に趣意書を発送。

広告掲載依頼（目標 8 社）ランチョンセミナー講演依頼（2 社）、積水メディカルとロシュから依頼があり。

研修会についての講演依頼書を発送。（講師・施設長宛）。

司会依頼書を発送（司会者・施設長宛、）。

市民公開講座については講師依頼書を発送。（講師・施設長宛）。

司会者依頼書を発送（司会者・施設長宛）。

講師料 40,000 円（交通費込み）（高木理事）

一般来場者で先着何名かに粗品（健康に関する粗品）を進呈してはどうかとの意見もあった。

今のところ岐阜市会報と地方誌（咲楽）投稿する予定。

研修会案内文書と参加申込書の施設発送時期は（4 月 20 日）の定期便。参加申込書返信期限は（5 月 15 日）の予定。（高木理事）

印刷は南進社と旭クリエイトに見積書を依頼した。垂れ幕の 4 本の予算は南進社（42,881 円）・旭クリエイト（38,880 円）である。資料集 150 冊の予算は南進社（72,576 円）・旭クリエイト（102,060 円）であった。南進社が安く南進社に依頼したい。

印刷は南進社に依頼することを承認した。

春季拡大研修会予算案として、収入が会費（100 名）100,000 円、協賛金（広告・ランチョン）180,000 円、日臨技助成金 50,000 円、収入計（330,000 円）支出が会場費 0 円、垂れ幕（4 枚）43,000 円、資料集（150 部）150,000 円、消耗品（講師お茶代・文具）3,000 円、講師謝礼（3 名）120,000 円、弁当代 120,000 円、会議費（日当・旅費交通費）50,000 円、振込手数料 540 円、支出計（486,540 円）収支額（- 156,540 円）。（高木理事）

西濃地区 松浦理事より西濃地区総会報告。

開催日時 平成 29 年 2 月 10 日（金）19 時～19 時 40 分。

会場 大垣徳洲会病院 4 階会議室。

報告内容

平成 28 年度活動報告

- ①平成 28 年 6 月 5 日春季拡大研修会（大垣市情報工房にて）
- ②平成 28 年 10 月 16 日大垣市健康ひろば（大垣城ホール）
- ③平成 28 年 11 月 19 日H I V 啓発活動（岐阜経済大学）。

平成29年度活動計画

①平成29年6月4日春季拡大研修会・定時総会（岐阜大学記念会館）

②平成29年11月12日秋季拡大研修会（高山世界文化センター）

当日出席者は25名、委任状86名、計111名、西濃地区会員数145名（平成29年1月1日現在）

会員から岐臨技役員と部門長の重複についての質問があった。（松浦理事）

役員（監事）と部門長の兼任は定款上問題ない。（兼子議長）

誤解を受けないよう、望ましい形になるよう進めた方がよい。（浅野副会長）

飛騨地区 荒井理事より秋季拡大研修会と地区総会についての報告。

3月5日に飛騨地区総会を開催する予定。

秋季拡大研修会は11月12日に世界生活文化センターで開催予定。（荒井理事）

中濃地区 乙訓理事より地区総会についての報告。

3月23日に中濃地区総会を開催する予定。（乙訓理事）

東濃地区 美濃輪理事より第55回岐阜県医学検査学会準備進捗状況についての報告。

第55回岐阜県医学検査学会準備進捗状況

平成29年2月中旬まで

①抄録集を完成し、2月定期便にて講師・座長・演者および各施設に配送予定。（技師会事務所に依頼済）

②学会発表パワーポイント提出締め切り及び学会参加申込み締め切りは2月末。

3月1日に第2回実行委員会開催予定（最終打ち合わせ）

3月12日（県学会当日）（美濃輪理事）

帖佐理事より学術部からの報告。

1. 病理細胞部門研修会講師の承認について。

第2回中部圏認定病理研修会

テーマ 「そうだったのか検体処理」

日時 平成29年7月8日（土）12:30～17:40

場所 名古屋大学医学部基礎研究棟3階第一会議室。

定員は100名、参加費は2,000円。講師には講演1、豊田厚生病院田中浩一技師、講演2、西尾市民病院 中村広基技師、講演3、岐阜大学附属病院 片桐恭雄技師、講演4、海南厚生病院 北島聖晃技師、特別講演には大垣市民病院の外科部長、前田敦行先

生と神戸市立医療センター中央病院病理診断科副医長、山下大祐先生を講師としてお招きすることになりましたので理事会での承認願います。(帖佐理事)

病理細胞研修会部門の講師派遣について承認した。

2. 学会誌の報告と見積についての報告。

研修会予算としては収入が参加費 200,000 円、日臨技補助 50,000 円、合計額 250,000 円。支出が講師料、前田敦行先生 40,000 円、山下大祐先生 30,000 円、田中浩一先生 2,000 円、中村広基先生 2,000 円、北島晃先生 2,000 円、片桐恭雄先生 2,000 円の合計 78,000 円と交通費合計 23,400 円、会場費 26,000 円、会議費 5,000 円、テキスト代 95,000 円、消耗品 5000 円、通信運搬費 5,000 円、雑費 12,600 円、支出合計額 250,000 円である。(帖佐理事)

3. 新人サポート研修会は 5 月 28 日に開催。

内容は血液ガス、採血の追加、ランチョンセミナー、テキストはダウンロードではなくテキストを作成し配布する。(帖佐理事)

テキスト代の見積は複数社にしていきたい。(兼子議長)

複数社に見積もりを依頼し、安価なところに依頼した。(帖佐部長)

4. 生涯学習の登録に関して

①案内文に「研修会終了 1 週間後以降に各自で参加登録及び点数を確認していただくようお願いします。」の一文を加え、それと合わせて研修会の最初に上記の内容をアナウンスしていただきたい。(帖佐理事)

②技師会の会員番号がわからず参加された方に別紙(研修会名・氏名・施設名・電話番号・会員番号を記載していただく用紙)を研修会で渡し FAX を依頼する。

5. 糖尿病療養指導士の単位申請は会員個人で申請していただく。案内文には載せない。

佐藤理事より精度管理事業部からの報告。

岐臨技精度管理報告会を実施した。

日時 平成 29 年 1 月 29 日(日) 13:00~16:40

場所 東海中央病院 3 階小会議室 (各務原市蘇原東島町 4-6-2)。

参加人数は、技師会会員 69 名・メーカー 20 名の合計 89 名。

発表者は各部門担当者 12 名(詳細報告は各部門の研修会で実施)。

特別講演は岐阜大学医学部付属病院技師長 古田 伸行先生。

開会挨拶は兼子会長、閉会挨拶は棚村副会長で終了した。日臨技生涯教育制度専門 20 点は申請済。日臨技助成金は申請中(決算報告書入力済)。次年度の日臨技 JAMTQC システムの使用申請している。(佐藤理事)

第 4 回精度管理事業部会議を開催した。

日時 平成 29 年 1 月 29 日 (日) 10:00~12:00

場所 東海中央病院 3 階小会議室 (各務原市蘇原東島町 4-6-2)。

CA19-9、CA125、HIV を新規導入したが、試料の購入費が高騰している。試料を福岡技師会から 2 濃度各 ¥500 で購入していたが、次年度からは日臨技より 2 濃度各 ¥1000 で購入することになり、参加費臨床化学を ¥2000 から ¥3000 へ、腫瘍マーカー・ホルモンを ¥2000 から ¥3000 へ値上げ予定。

H28 年度実績は臨床化学(63 施設×1,000 円=63,000 円)、腫瘍マーカー(39 施設×1,000 円=39,000 円)。(佐藤理事)

試料の郵送方法は、ゆうパックによる検体郵送が困難となり、他の配送会社を検討。

精度管理総括集は出来る限りコストを下げるよう努力する。カラーページをモノクロにし表紙の紙質を落とす。CD 添付または HP 掲載などを検討。

HbA1c の高値試料は岐阜医療科学大学に依頼した。採血予定日は H29 年 8 月 27 日(日)。

高崎理事より広報宣伝部からの報告。

2 ヶ月に一回広報誌を発行する。

県学会の報告が 3 月の会報には間に合わないので 4 月に延期。4 月は県学会報告、秋季拡大研修会案内、各部門報告、施設紹介を予定。(高崎理事)

その他

認定 MPO 法人子宮頸癌を考える市民の会より寄付の依頼あり。寄付金は 30,000 円。寄付金の使用範囲が不明である点、岐阜県細胞検査士会会長より要請がないことから、今回は見送りとする。(兼子議長)

日臨技主催の認知症検査のための対応力向上講習会が鳥取で開催。認定技師である佐々木理事参加していただく。その後岐臨技で伝達講習会を開催する。(兼子議長)

各部長より平成 29 年度事業計画案についての報告。

冒頭は兼子会長より説明。検査説明・相談ができる検査技師育成講習会事業は終了。詳細は各部の報告にて確認。(兼子議長)

帖佐学術部長より平成 29 年度事業計画の報告。

学会は日本医学検査学会・中部圏支部医学検査学会・第 56 回岐阜県医学検査学会。拡大研修会は春季(岐阜地区)、秋季(飛騨地区)。

部門研修会は生物化学分析部門(年 3 回)、臨床生理部門(年 7 回)、臨床一般部門(年 3 回)、臨床血液部門(年 5 回)、病理細胞部門(年 4 回)、臨床微生物部門(年 5 回)、輸血細胞治療部門(年 6 回)、染色体遺伝子部門(年 3 回)、臨床検査総合部門(年 1 回)

を予定。

新人サポート研修会は、資料集を作成し、広告費をいただく予定。(帖佐部長)

佐藤精度管理部長より平成 29 年度事業計画の報告。

HbA1c は生血を使用し溶血による影響は回避できたが、健常者 2 名の検体であった。
高値の検体を調達する。

生理検査は呼吸機能からも出題する。

C・D 評価の是正報告等の対処方法について検討。

ゆうパックによる検体郵送が困難になるため、他の配送会社を検討。

免疫の資料が高騰していること、日臨技の試料を購入し使用することから、参加費を値上げする。

清水組織調査部長より平成 29 年度事業計画の報告。

「検査と健康展」を 11 月に予定。本年度より各地区持ち回りとする。平成 29 年は中濃地区で開催を予定。(清水部長)

11 月末頃、関市の若草プラザで開催される、いきいきフェスタと同会場での開催について交渉した。(高崎理事)

健康イベントは、やさか福祉健康まつり、高山市民健康まつり、大垣市民の健康広場、ぎふ市民健康まつりに参加を予定している。

HIV・STI 予防に関する事業、各表彰該当者の選出を計画。(清水理事)

高崎広報宣伝部長より平成 29 年度事業計画の報告。

1. 会報の発行は年 6 回を計画。

内容は 1 号 (6 月) 春季拡大研修会報告など、2 号 (8 月) 会長挨拶、理事紹介など、3 号 (10 月) 全国学会報告、4 号 (12 月) 秋季拡大研修会、検査と健康展、各イベント報告、5 号 (1 月) 会長挨拶など、6 号 (3 月) 県学会報告など。

施設紹介、各部門からの研修会報告、御寄稿などは随時掲載予定。

会報作成スケジュール等は、投稿願 (発行月の前月 1 日より依頼)、原稿締め切り (発行月の前月末日) 内容確認、校正 (発行月の理事会日)、発送 (発行月 20 日) の予定。(高崎理事)

2. ホームページの維持管理は (株) ディックナレッジテクノソリューション (担当: 島田様) を通じて各種情報を掲載。

3. ホームページ バナー広告協力メーカーの契約管理、新規獲得。10 月～次年度 10 月まで、36,000 円/社 の年間計画で現在 5 社 (SEKISUI、栄研、シスメックス、シーメンス、ラジオメーター) と契約。(高崎理事)

柴部長より渉外部の平成 29 年度事業計画の報告。

平成 29 年度定時総会において、平成 28 年度決算が承認されたのち、速やかに公益目的支出計画実施報告書を電子申請にて行い、県医療整備課と連絡をとりながら、修正していく。

平成 27 年度、公益目的支出は予定どおりである。終了予定年度は平成 36 年 3 月 31 日。当該事業年度末日の公益目的財産残高は 10,921,543 円となっている。一般社団法人移行時における公益目的財産額は 13,367,094 円。公益目的支出計画実施期間は 13 年間。平成 26 年度の公益目的支出額が増えて当初の予定より 3 年短縮された。

岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部会、岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会への参加。

平成 29 年度をもって理事変更のため書類等の準備を行う。(柴理事)

高木庶務部長より平成 29 年度事業計画の報告。

研修会・連絡事項等を毎月 20 日の定期便にて発送。

理事会・常務理事会の開催案内を月初めにメールにて送信。

事務所使用管理、他団体・会員よりの問い合わせ等の対応。各種の書類管理。

議事録作成。会長・副会長・監事が確認し署名捺印、HP に掲載する。

会費管理に関する事項の対応。定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録。定時総会の取り仕切り。総会関連の議決権行使書の作成。

マンション管理組合総会への出席。(高木理事)

乙訓会計部長より平成 29 年度事業計画の報告。

平成 28 年度中間決算について

1. 収支計算書について

予算額と中間決算額の比較です。ただし、中間決算額は 4 月 1 日から 9 月 30 日の 6 か月の実績ですが、予算額は 1 年度分です。したがって、中間決算額が予算額の半分程度であれば予算通りともいえますが、一部の科目は収益・費用が上期か下期に集中しています。

また、(1) 経常収益の①入会金・会費収入の「正会員会費収入」の中間決算額は、実際に入金のあった額の半分を計上し、残りの半分は前受金として下期の収益にしています。

予算との差額の大きい科目

(2) 経常費用 ①事業費の「事務員給与」の増加は事務作業の増大に、「講師等謝礼金」の増加は研究部門研修会に多くの外部講師を招聘したことによるものです。

2. 正味財産増減計算書について

当年度と前年度の中間決算額の比較です。

前年度と差額の大きい科目は

(2) 経常費用

「日当」「食卓費」「会場費」の増加は研修会を多数開催したことによるものです。

「ホームページ維持費」の減少は、前年度に支払ったサーバー移行費用が無くなったためです。

「消耗品費」の減少は、前年度まで支払っていたコピー機印刷代金が無くなったためです。

「試料代」の増加は、精度管理調査の項目を追加したことによるものです。

「製本費」の増加は、主に病理細胞部門の認定講習会テキスト分の増加によるものです。

「厚生年金保険料」は、当年度より発生した法定福利費です。

「給与手当」の増加は、収支計算書と同じ理由です。

3. 貸借対照表・財産目録について

I 資産の部の「未収金」は精度管理参加費のうち、上期中に支払われなかったものです。

II 負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分としたものと、下期開催の検査と健康展の助成金が入金があったものです。(乙訓理事)

平成 29 年度収支予算については

1. 平成 29 年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会収支予算表の見方

一番左は科目で、上から (1) が経常収益、(2) が経常費用、それぞれの一番下が合計額です。全体(枠内)の下から二番目が(1)から(2)を引いた経常増減額で△はマイナスです。

経常費用は「事業費」と「管理費」に分かれています。「管理費」は理事会・総会の費用など当会の運営上の費用で、他は「事業費」となります。

科目から右の「実施事業等会計」は公益目的事業に相当します。それ以外は「その他会計」です。事業名の下に数字がそれぞれの予算額です。

「法人会計」は管理費をまとめたものです。「法人会計」の右「合計」は平成 29 年度予算の合計額です。

枠外の右と下には平成 28 年度予算額と平成 29 年度予算額との差額を表示していません。

2. 前年度との差額の大きい科目(収支予算の右端の「差額」±100,000 円以上の説明)

(1) 経常収益

「正会員会費」は、平成 28 年度分を参照し増額しました。

「精度管理参加費」は、試薬代金の値上がりが見込まれ、それに伴い参加費の値上げを予定しており、増額しました。

「広告料」は、「新人サポート研修会事業」でテキスト広告を募集する予定で、主

にその分を増額しました。

「学会研修会助成金」は、「検査説明相談講習会事業」が開催終了となったため、主にその分を減額としました。

(2) 経常費用

「事務員給与」は、事務作業の増大により増額しました。

「試料代」は「精度管理事業」の試料仕入先変更を予定しており、値上がりが見込まれるため増額しました。

「機器リース料」は、事務所のコピー機印刷代金が無くなるため減額しました。

「会場費」は「検査と健康展事業」の会場設営費を見直し、増額しました。

「厚生年金保険料」は前年度より法定福利費が発生し新設しました。

3. 前年度との差額の大きい事業（収支予算の下の「差額」±100,000円以上の説明）

「学術事業」は、部門合同研修会開催を予定し増額しました。

「病理細胞部門事業」は、認定更新講習会開催を予定し、それに伴う「参加費収入」と「製本費」・「講師謝礼（講演料）」などを増額しました。

「新人サポート研修会事業」は、テキスト作成を予定し、それに伴う「テキスト広告費収入」と「製本費」を増額しました。

「検査説明相談講習会事業」は開催が終了しました。

「精度管理事業」は、試料の値上がりが見込まれ、それに伴う参加費の値上げを予定しており、「精度管理参加費収入」と「試料代」を増額しました。

「広報事業」は、「ホームページ維持費」の減少を見込み減額しました。

「その他会計」の「共通事業」は、「正会員会費」増額を見込み、また、事務員の作業増大のため「事務員給与」と法定福利費「厚生年金保険料」を増額しました。

4. 平成28年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会収支予算摘要（別表）

収支予算表と同じ場所に、算出根拠を記載しました。（乙訓理事）

各部からの報告は以上。質問・意見は特になく、平成29年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会事業計画案を承認した。

本計画案を平成29年度岐阜県臨床検査技師会事業計画としてHP掲載する。

平成28年度岐臨技事業報告書を5月12日の理事会までに庶務部で取りまとめる。

議長 萬子 徹 

議事録署名人 太田 義和 

議事録署名人 森 じゆり 

